

保護者 様

新居浜市立宮西小学校長 岡 俊 守

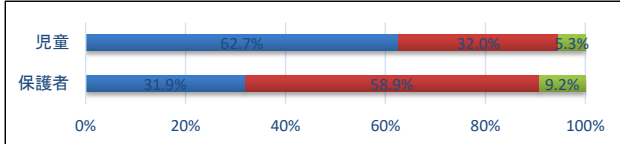
学校評価結果のお知らせ

12月に実施しました学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたのでご報告いたします。また、結果を基に、1月に学校運営協議会で話し合いをもちました。保護者の皆様からいただいた学校評価結果を真摯に受け止め、これからの学校教育活動に生かしてまいります。今後とも、ご協力、ご支援の程、よろしくお願いいたします。

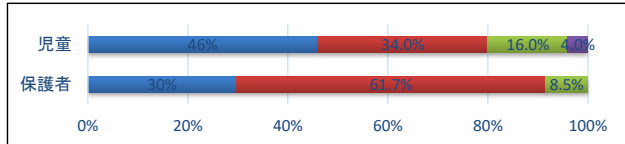
■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまり思わない ■ 思わない

目標値：(そう思う+大体そう思う)が80%以上

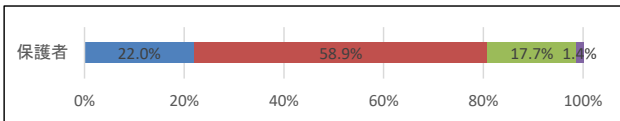
勉強をがんばっているか。(児)
学校は、一人一人を大切に、分かる授業、楽しい授業に
努めているか。(保)



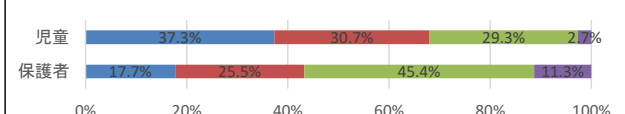
授業では、自分の考えを発表しているか。(児)
学校は、体験的な学習・問題解決的な学習を重視し、子どもの
学習への関心・意欲を高めているか。(保)



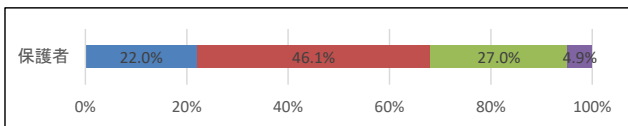
基礎学力は身に付いているか。



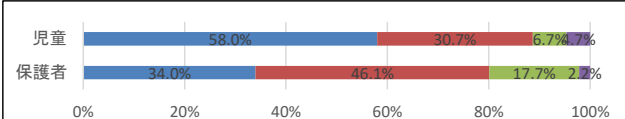
本をよく読んでいるか。(児)
読書の習慣が身に付いているか。(保)



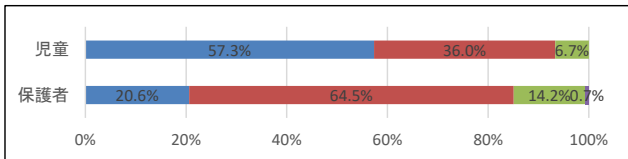
家庭での学習習慣が身に付いているか。(15分×学年)



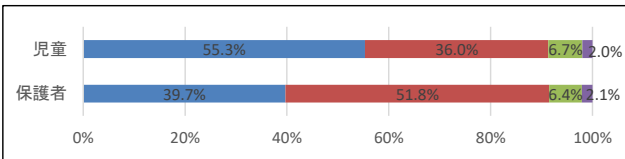
あいさつがよくできるか。(児)
子どもは、よくあいさつをしているか。(保)



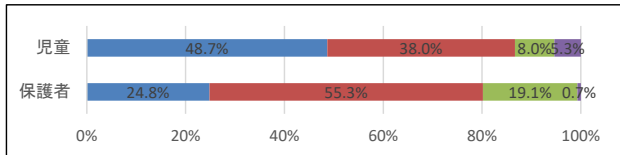
学校のきまりを守っているか。(児)
発達段階に応じた規範意識が身に付いているか。(保)



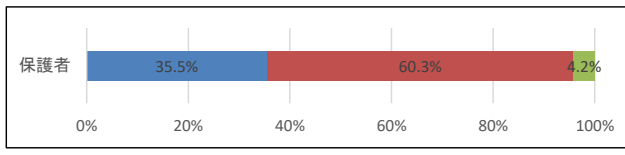
学校が楽しいか。(児)
楽しく学校生活をおくっているか。(保)



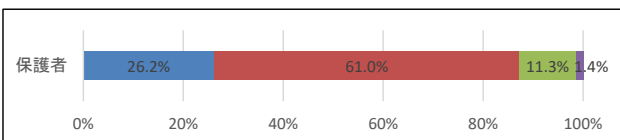
自分にはよいところがあるか。(児)
自尊心(自分が好きという気持ちや自信)が育っているか。(保)



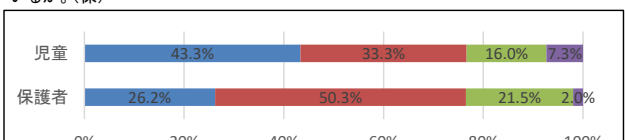
友達を思いやるやさしさが育っているか。



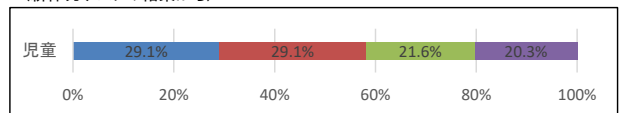
学校は、いじめ・不登校等の問題について早期発見、早期対応、
早期解決に努めているか。



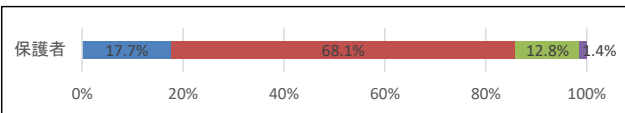
早寝早起きをしているか。(児)
「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的生活習慣が身に付いて
いるか。(保)



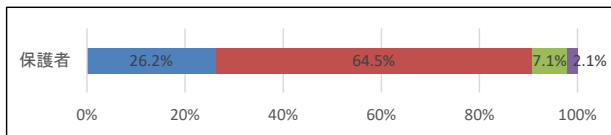
発達段階に応じた体力や運動能力が身に付いているか。
(新体力テストの結果から)



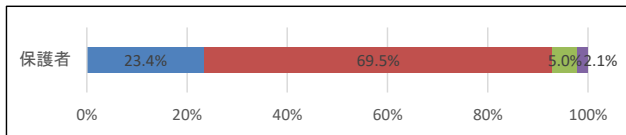
安全に対する的確な判断力や行動力が身に付いているか。



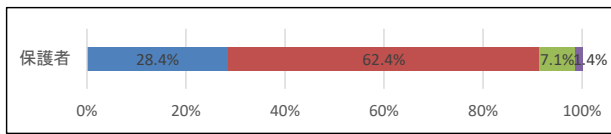
学校と家庭とは、信頼関係が築けているか。



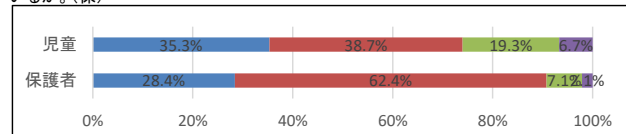
学校は、「開かれた学校」として積極的に情報発信ができているか。



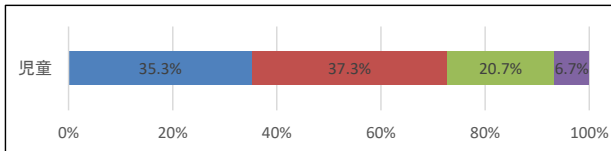
学校は、家庭・地域と連携して教育を進めているか。



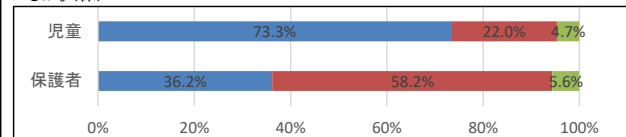
困ったことや悩みがあれば、先生に相談できるか。(児)
学校は、子どもの悩みや保護者の相談に適切に対応できているか。(保)



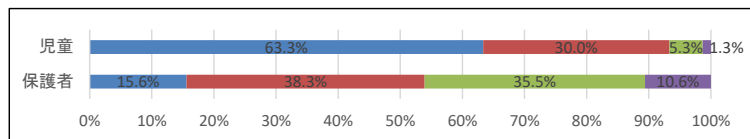
地域の行事に積極的に参加しているか。



授業でタブレットを積極的に使っているか。(児)
学校は、積極的にタブレット等のICT機器を授業で活用しているか。(保)



タブレットは学校のルールを守って使っているか。(児)
子どもは、ゲームやテレビ、スマートフォンの時間は、家庭で時間を決めて守れているか。(保)



◎ 自己評価結果についての考察及び改善策等

「そう思う・大体そう思う」が80%以上の肯定的な評価を受けている項目が今年度も多く、保護者の方々には本校の教育活動について一定の評価をしてくださっているし、子供たちも学校生活の中で様々な活動に取り組みながら、成長してきていると考えられます。特に、今回子供たちが「自分は頑張っている」「自分には良いところがある」と肯定的に自分を捉えていると思われる項目に伸びが見られ、よく頑張っていると感ぜられる場面が増えたのではないかと思います。ただ、やはり昨年度までも評価が低かった、基礎的、基本的な生活習慣、読書習慣、学習習慣の部分は、いずれも低く、改善がなかなか難しいところです。また、スマートフォンやタブレットの使い方については、子供への質問の文言を少し変え、広く考えられるようにしましたが変わらず、今年度も児童と保護者の意識に開きがあり、心配な部分です。

それぞれの課題に対するアプローチの仕方を、学校全体でもう一度捉え直し、来年度少しでも改善がみられるような取組を行っていきたいと思います。

<確かな学力>

例年課題に挙げられる読書習慣については、もう一度「本を読むのが好き」と児童が思えるような取組を、学校全体で考えていきます。特に、図書館司書の先生と連携し、児童が本に興味を持てるような手立てを考え仕掛けたり、高学年の委員会活動を活発化し、図書館の利用を増やすようなイベントを行ったりして、まずは児童の「本が読みたい」気持ちを高める活動に取り組みます。おうちの方との語らいのひと時ともなる「うちどく」の取組は続け、その際におうちの人とぜひ読んでみたいと思える本が選べるよう、児童の読みたいと思える蔵書を増やしたいです。また、学習習慣については、「宿題を終わらせる」学びから、「自分が学びたい」学びへの意識の転換を、大人が変えていく必要があるのではないかと思います。学校では、自主学習を活用し、調べ学習や自分が興味のある分野を工夫して学んでいる児童の学習を手本として紹介しながら、ICTも効果的に活用して取り組めるような課題を提示するなど、児童が充実して「楽しい」と思える学びを考えていきます。

<生徒指導>

保護者も児童も、昨年と変わらない評価で、落ち着いた学校生活を過ごせていると感じている様子です。特に、「自尊感情」については、児童の回答が過去6年間で一番良い数値となっており、自分自身の頑張りを認められる児童が増えていることは本当に良いことだと思います。ただ、「あまり思わない」「思わない」と考えている児童がいることを忘れずに、継続して全校体制で細やかな対応を心掛けていきたいと思っています。「ルール(規範)」と「リレーション(信頼関係)」は一体です。そのことを忘れずに、学校がより良い学びの場になるように取り組みます。

<人権・同和教育>

「いじめ・不登校への対応」については、肯定的な評価が増えました。継続して、保護者の方々の訴えに真摯に対応し、学校全体で問題に対して解決に努めていきます。

<家庭・地域>

「困ったことや悩みがあれば、先生に相談できる」で、「あまり思わない」「思わない」と答えた児童が、昨年と同様2割強いました。困ったことがあるときに、相談しやすい雰囲気や場作りを心掛け、ハート何でも相談員やスクールカウンセラーと協力しながら、児童の悩みごとの解消に向けて取り組んでいきたいと思っています。

昨年、学校運営協議会の中で、「地域の行事に参加できない理由を聞いてみてはどうか。」というアドバイスがありました。そこで、今年度は、児童に質問したところ「習い事などで忙しい」「興味が無い」ということでした。近年、娯楽の幅が広がり、地域の行事に参加する意欲や機会が減っているのではないかと思います。その中でも、参加したいと思っている児童もいるため、地域の行事は積極的に紹介していきたいと思っています。

<ICT>

「タブレットやスマートフォンのルール遵守」の項目は、児童と保護者の意識の差が昨年に引き続き、大きく開いています。学校では、ICT機器に対する向き合い方を、ネットモラル学習の中で考えさせ、ICTに振り回されず自分が上手な使い手としてどう活用するか、伝えていきたいと思っています。

【学校運営協議会における主な意見等】

○インターネットの使い方は、家庭の問題ではないか。親が子供にスマートフォン等を持たせるときに、具体的にルールを決め、守らせるようにしないといくら学校で先生が伝えても改善するのは難しい。
○スマートフォンなど保護者世代に、もともとなかったものを扱うとき、「なぜいけないのか。」という子供の問いに対して、明確な答えを伝えられない。時代の流れの中で、頭ごなしにダメとは言えないと思う。
○自分で自制できる子は、きちんとルールを守って使える。自分では管理が難しい子供がゲームやインターネットを使いすぎ、昼夜逆転の生活になったり、不登校につながったりする。そういう子供たちをどうにか救う手立てがないものか考える。
○SNSトラブルが後を絶たない。特に中学校では、小学校と違ってSNSで他校の子供とつながり、世界が一気に広がる。その分、トラブルも多い。SNSとうまく付き合って友達とのつながりを充実させるためにも、大人がある程度ルールを作ることも大切である。そうでなければ、先生はトラブル対応に疲弊し、本来学ばせたいことを教えられない。先生は大変だと思う。
○どの学校も随分落ち着いた学校生活を送れている様子が、いろいろな評価から垣間見える。このまま続けてほしいと思う。